



ゆりのき

赤坂中学校教育目標

- ・「まなび」を大切にする
- ・「まなび」を大切にする
- ・「まなび」を大切にする
- ・「まなび」を大切にする

本年もよろしくお祈りします

校長 高松 政則

あけましておめでとうございます。3年ぶりに行動制限のなかった年末年始。年越しや正月の人出は、去年の倍ほどになったところもあったようです。

皆さんはどんなお正月をお過ごしになったのでしょうか。今年も元日は天候に恵まれ、素晴らしい初日の出を見ることができました。

さて、令和5年(2023年)は、「十干十二支」の考え方では「癸卯」(みずのとう)の年です。「癸」は十干の10番目であり、生命の終わりを意味するとともに、次の新たな生命が成長し始めている状態を表しています。「卯」は十二支の4番目で、草木が萌え出る春の訪れを感じる時です。これらを合わせた「癸卯」は「厳しい冬が去り 春の兆しが訪れる」、「これまでの努力が実り、芽吹き始める」といった年を予感させてくれます。



(ハイブリッジとハマ-ハット)

昨年までは、新型コロナウイルス感染症の流行の影響もあり、多くの行事が中止・縮小となるなど、学校にとっては厳しい冬のような時期でした。

その中にありつつも、新しい生活様式など変化に向けて新しい取り組みを続けてきたことで、少しずつですが確実に、新しい力を培ってきました。昨年9月からは新校舎となり、小学生と一緒に生活が始まり、そして、今年4月には平成25年3月に区長決定された赤坂中学校本設整備計画により、区内3校目の小中一貫教育校赤坂学園が開校します。今年「癸卯」の年に因んで、「芽」を出し目に見える成果につながるようにしていきたいと思っています。

今年も企業広告から目に留まった一つを紹介します。

「Xの時代へ。」(筑摩書房)

コピーに使っている「X」は否定する「×」ではなく、お互いの力を増やすX(かける)の時代にしていきたい、としています。

皆の力を集結し、新しい学校「赤坂学園」を素晴らしい学校にできるよう、準備を進めて行きます。3学期は一年の中で最も短い学期となります。3年生は4月からの新しい進路に向けた挑戦と、中学校生活の総まとめの時期となります。1・2年生は進級に向けてこれまでの学校生活を振り返る大切な時期です。

本年も教職員一同生徒たちの夢や希望の実現を図ることができるよう、教育活動に取り組んでまいります。本年もよろしくお祈りいたします。



1月の予定

10日(火) 3学期始業式	17日(火) 学校公開週間終
11日(水) 45分授業 区教研A・B	20日(金) 書初め展終
12日(木) 学校公開週間始 専門委員会	区研究パイロット校発表会(本校)
13日(金) 避難訓練 中央委員会	22日(日) 私立推薦入試
14日(土) 土曜授業日 職場訪問(1年)	26日(木) 都立推薦入試
書初め展始 PTA 常任委員会(10時)	27日(金) 校外学習(2年)

1月の生活目標 「新たな目標をもって生活しよう」

○新年の抱負を立てよう。 ○学年のまとめを意識して生活しよう。



12/3(土) 3年ぶりに地域総合防災訓練「いも煮会」が新校舎で開催されました!

青少年対策赤坂地区委員会が主催する「いも煮会」がコロナ禍の中、3年ぶりに実施されました。3年前は「南青山キャンパス」に引っ越して1年目の体育館にて。4年前まではこの地赤坂の旧校舎で行われておりました。今年は新しい校舎・校庭ですので、まずは『できる範囲でスタートしましょう』となりました。小学生は新校舎の5・6年生のみとし、中之町幼稚園の園児はお休みの日ですので、保護者との自由参加としました。赤中生がすばらしくよく動いてくれたと、各方面の皆様からお褒めの言葉もいただきました。地区委員会の皆様はもとより、ご協力いただいた、赤坂消防署、赤坂警察署、赤坂地区総合支所の皆様、おやじの会や調理を手伝ってくださった保護者の皆様、本当にありがとうございました。



慣れない包丁ながら上手に切りました



人工芝の上にブルーシート



「おやじの会」の皆様も釜のお手伝い

12/22(木) アスリート先生派遣事業「チャレンジャーズアカデミー」が初めて開催されました

一般社団法人 FELICE スポーツクラブ(運営事務局が赤坂スポーツクラブ)主催、公益財団法人日本財団のご協力で、初めて1年生2クラスで2時間ずつ実施されました。1校時に体育館でサッカー(晴れていれば校庭でしたが)、2校時は教室での講義です。講師は元サッカーアトランタ五輪代表の松原良香先生(2月から「いわてグルージャ盛岡」監督)、アシスタント講師はジェフユナイテッド市原(現千葉)で活躍された式田高義先生でした。アップ・基本練習の後、ミニゲームで盛り上がりました。着替えた後、講義では松原先生が10代から海外でサッカーのチームを渡り歩いた苦労話や、相手とのコミュニケーションをどんどんとること、それには言語を身に着けること、「自分は周りの人たちに何をしてあげられるか」を常に考えること、などの貴重なお話をいただきました。



アップ・基本練習の後は、ワールドカップ開催直後でもあり4か国に分かれミニゲーム



2時間目は、教室での講義でした